



美の心  
美の心  
美の心

12  
881  
62













ゆれとふ未れまに六条院をさうむお終る二二の  
とらと暖蔵院は隠居し終る一とらとこれにけり  
あく杖滅のるの河海はゆめと色ありぬ幻をまは  
大将の五葉れ時也自さすまの始りまえこれ終  
のらと云河あり自のまをめは蒸八十白葉也故は蒸  
乃六葉より十三とこれ八ヶ年のことい物より此  
ハカしゆとてまの六云隱のまに暖蔵院より二三  
の隠居し終る後編終り終る一とけ巻は河わ  
らけ終る一と也柳を乃名をりありあつと河と文ぬ  
事六天台の四敷のはつと終り終るれと終るのそと  
まらとゆらと倍とてつと毛詩の六雅の中に  
陔白華花黍由庚紫丘由儀の六篇ハ篇れ名のそと  
の河とあり毛の終るもと河と一と終るも也

毛よりとて東廣微とつり八河と他へ補られ終と  
名付文選の才十卷にのをたり朱晦庵ハ筆乃詩とい  
て樂曲乃名あましと河をととありあつと河終る  
終るゆらとつと後編の名のそと終るも河と終るハ中  
隠るれ名のそと終るも河と終るもと終るも







